

【日本の農業が抱える課題について考え、
プレゼンテーションに取り組もう】

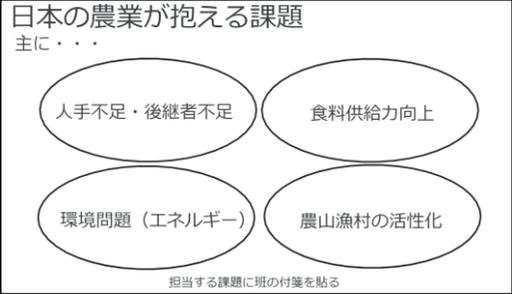


図1.Jamboard

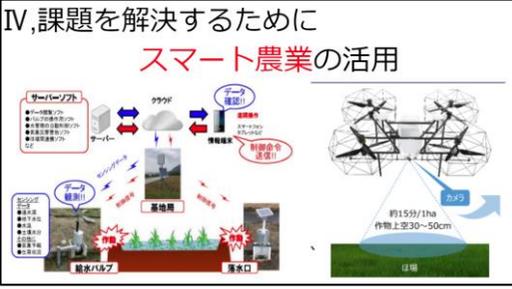


図2.スライドの作成

活用場面

- 一斉学習
教師による教材の提示
- 個別学習
思考を深める学習
- 協働学習
発表や話し合い
協働での意見整理
協働制作

活用した機器等
Chromebook

- 活用したアプリ等
- Google Jamboard
 - Google スライド
 - Google Classroom
 - Power Point

学習のねらい

現在の日本における農業や農村を取り巻く課題を個人で整理し、班で話し合うことで、これからの農業や農村の在り方を意見としてまとめる。個人の意見と班の意見・他班の意見を聞き、それらを踏まえて改めて個人の意見を整理する。また班のメンバーそれぞれに役割を与え、協力して発表用スライドと原稿を作り上げることを通して、新たな農業・農村の創造に向けて、どんなことが重要で私たちが何をすべきかについて考える。

学習の流れ

導入 前時までに学習した現在の日本における農業の課題について復習し、日本の農業や農村は多くの課題を抱えていることを改めて確認する。(例:農業の人材不足と高齢化、耕作放棄地の増加、食品ロスの拡大 等)

展開 個人で興味のある課題についての解決策を考えてまとめる。生徒の関心がある項目ごとに班に分かれ、役割分担をしながら発表資料を作成する。(生徒が考えた解決策の例:スマート農業の活用、農産物のブランド化、農業の6次産業化 等)

まとめ 班ごとに発表し、クラス全体で意見を共有する。実際に行われている課題解決策についても確認しながら振り返りを行い、個人で課題とその解決策についてまとめる。

ここでICTを活用！

導入:Google Jamboardに前時までに学習した内容を提示し、日本の農業や農村の抱える課題を確認させた。

展開:班ごとに決めた課題と解決策について話し合い、発表資料としてGoogle スライドにまとめさせた。

まとめ:生徒自身が振り返りを行うための参考資料として活用できるように、教員が発表の様子を撮影し、その動画をGoogle Classroomにて配信した。

自分の考えを形成する

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

共同編集機能を用いることで、個々の生徒の意見や情報等を共有することが簡単にできるようになった。その結果、主体的・協働的に課題解決に取り組むことができた。

発表の様子を撮影し、その動画をGoogle Classroomに配信したことで、生徒は授業後にも振り返りをする事ができた。またこのような動画をポートフォリオとして蓄積することで、生徒は今後のプロジェクト活動や課題研究に役に立たせることができると考える。